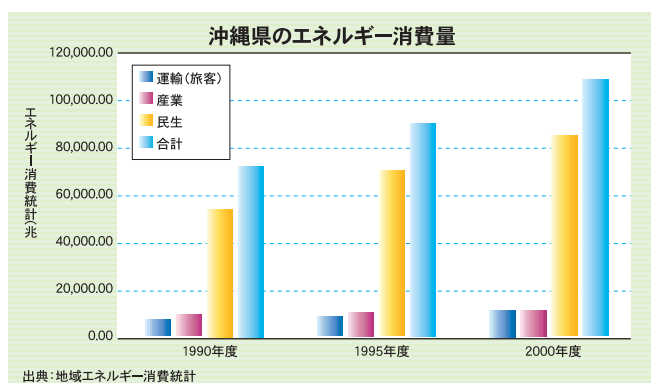


01 02 農林水産部

03 04 経済産業部

05 開発建設部

06 運輸部



沖縄県のエネルギー消費量を部門別に見てみると、民生部門（家庭用・業務用）の消費量が産業部門に比し約5倍、運輸部門に比し約7倍と大幅な消費量を示しています。

経済産業部では、エネルギー消費量の高い民生部門のエネルギー対策やCO₂排出抑制をはかるための広報事業の環として、エネルギー地域啓発事業を毎年実施しています。

平成18年度においては、沖縄県内観光ホテル事業者を対象に、ESCO事業・省エネ機器等の紹介や経営効率の高い省エネへの取り組み方法についてセミナーを開催しました。

ESCO事業とは Energy Service Company の略で、民間の専門事業者が顧客に対し、省エネに必要な設備及び技術等を提供し、一定の光熱費削減を保証することで、その削減部分の一部を顧客が専門業者にサービス料として支払う事業です。

当セミナーでは、ECO事業導入でホテルの経営改善に成功したロイヤルパークホテル技術顧問の山岸秀夫氏、サンコトシャ省エネシステム部長の木暮徹氏及び財団法人省エネルギーセンター理事の澤田武男氏を招聘し、「省エネルギーによる経営改善と環境イメージ向上を！…今すぐ実践できる省エネルギーの取り組み」をテーマに、講演が行われました。

支援事業等について説明が行われ、(財)省エネルギーセンターが無料で実施している「省エネ診断」の積極的な利用の呼び掛けもありました。

フロアでは、省エネ・新エネのパネル・機器展示等も併せて行われ、当日参加した皆様の省エネへの関心度は高く、それらの機器を手にとって熱心に見入っていました。

なお、当日の「講演録」について、経済産業部のホームページに掲載いたしましたので御参照のうえ、今後の省エネ戦略に御活用されますようお願い申し上げます。

経済産業部ホームページアドレス
http://ogb.go.jp/move/seminar/kekkaoukoku/syoene_seminar.htm

Point

去る7月13日(木)、エネルギー・環境に関する県民の理解増進、エネルギー地域普及啓発を目的に、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター会議棟で、「ホテルでできる省エネセミナー」を開催いたしました。

地球温暖化防止への取り組み

ホテルでできる

省エネセミナーの開催

